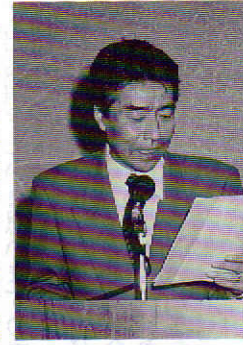


●会計報告

能代高校東京同窓会・会計監事  
村井克自氏 新制四期



簡単に会計報告をさせて頂きます。みなさんのお手元に配られております総会資料の2ページ目をご覧頂ければ十分おわかりと思いますので、読み上げることはいたしません。早く飲みたい気持が先行して、のどがカラカラです。悪しからずご了承ください。

まず最初に、収入の中に板倉氏記念品とございますのは、幹事の有志よりご寄付を頂いたものでございます。ご協力くださったみなさま、どうもありがとうございます。なお支出のほうは十一万五千円もらったうち、厚かましくも同窓会のほうに一万五千円残しまして、板倉前会長には十萬円の記念品をお贈りさせて頂きました。また、鈴木裕美子支援金五十二万円に關しましては、次ページを見てください。これまた厚かましく、たまたま2回戦で負けだとも硬式野球部が甲子園へ行ったり、軟式が全国大会出場で明石球場へ行ったりということもありまして、鈴木さんへの支援金からへじって、へじったというにはちよつと十九万円という額は大きいですが、鈴木さんのご好意により母校野球部に寄付させて頂きました。大体こんなところですが、よろしければご承認頂きたいと思ひます。

(拍手)……。ありがとうございます。

能代高校東京同窓会収支決算報告書

自平成3年10月1日～至平成4年9月30日

収入		支出	
前期繰越分	802,703	総会会場費支払	664,169
総会会費	726,000	総会諸経費	462,229
年会費3年度	905,000	印刷代	1,390,000
年会費4年度	754,000	郵送料	280,197
寄付金	378,000	広告交際費	60,880
恩師招待基金	198,000	鈴木裕美子支援金	490,000
鈴木裕美子支援金	520,000	板倉氏記念品代	100,000
板倉氏記念品	115,000	事務経費	11,650
預金利息	6,777	振替手数料	19,430
		次期繰越分	929,925
合計	4,405,480	合計	4,405,480

上記の通り相違無き事を承認しご報告申し上げます。

平成4年10月1日 会計監事 村井 克自 印

鈴木裕美子オリンピック出場支援募金状況

平成4年9月20日現在

収入	20,000円	1名 = 20,000円	支出	鈴木裕美子さんへ	300,000円
	10,000円	9名 = 90,000円		母校野球部 寄付	190,000円
	50,000円	78名 = 390,000円		通信費・雑費	30,000円
	新制7期有志	7名 = 20,000円		合計	520,000円
	合計	95名 520,000円			



## ●事務局からの報告

能代高校東京同窓会・事務局長

八柳昭義氏 新制八期



幹事会の活動報告というページをご覧ください。幹事会は原則として年間6回偶数月に開催しております。先ほど会長からお話がありました。幹事のみなさんにお集まり頂きまして、会の活動・運営に関していろいろ協議するとともに、よりいっそうの親睦を図っております。ただ、残念なことに幹事になって頂ける方はいない期があります。その期がこのような集まりその他の活動に対して、あまり活発に参加頂けないというようなことがございます。

新制六、十二、十三、十六、十七、十八、十九、二十、二三、二四、二六、以上各期には幹事の方がいらつしやいません。どなたか幹事になって頂ける方がおられましたら、幹事会にもご出席頂きたいと思っておりますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

それからこれも先ほどお話がありました。市内5校それに二ツ井高校を含めまして、交流を図り親睦を深めるため、それらの代表の方々を本総会に招待することにいたしました。こちらでもそれぞれの同窓会のご招待に預かっております。そのほか毎年一回、市内の高校同窓会の主な方々に集まって頂いて、懇親会・懇談会を催しお互いの情報交換とか、新しい企画の開発などに結び付けていきたいと思っておりますので、

よろしくお願いいたします。今年は八月に懇談会を開催いたしました。

今年は鈴木裕美子さんのオリンピック出場と母校野球部が甲子園に出たということ、これが特別な催しにつながるということになります。鈴木さんの件につきましては、有志の方々に募金をお願いし、九十五名の方から五十二万円の募金をお寄せ頂きました。村井さんの会計報告にありました通り、三十万円を贈呈し、十九万円は鈴木さんの申し出により、母校野球部の甲子園出場寄付金とさせて頂きました。三万円は募金要請の郵送料などの経費といたしました。野球部甲子園出場に関しては、東京同窓会は複雑になることを恐れ、能代本部のほうに一本化ということで、特別な活動はいたしませんでした。ただ、個人個人で応援に行つて頂くというところで、実は私も一回戦の応援に行きました。優勝、いや勝つたときのあの喜びは、テレビなどではわからない、現場でなければ味わえない感慨だと思えます。今度また出るときには、みなさんも甲子園に足を運ばれて、ともに応援して、その場の喜びまたは悲しみを味わつてみられたらよろしいと思えます。近畿同窓会には切符の手配などのご苦勞をして頂きました。特に近畿の秋田県人会が力を入れてくれました。毎年秋田県の代表校に格別の応援をしていただいている模様です。今回はわが校の軟式野球部が明石球場に出場しましたが、近畿県人会はそちらの応援にもかなり力を注いでくれたようです。以上が本年度の活動状況でございますが、今後ともよろしくご協力のほどお願いいたします。なお、特に若い方々のよりいっそうのご支援を頂くことが今後の課題となると思えます。

最後に、来年は新しい名簿の発行を予定しております。住所氏名その他の確認のため、ご連絡をいたしますので、ぜひ返信の葉書を頂きました

と思えます。特に今回はそれぞれの出身地をできるだけ細かく明示してみたいと思っております。一口に能代高校出身と言いましても、かなり多くの市町村出身の方々を含んでおります。また、市町村はさらにいくつかの集落でできております。たとえば、山本町ですと下岩川とか金岡あるいは森岳と言った所が含まれますが、そこまで書いて頂ければと思っております。出身地として、このような点までが明示されますと、かなり世代の離れた者同士、これまでこの同窓会でせつかく顔を合わせながら、ほとんど言葉を交わすチャンスさえなかった人たちも、「ああ、あの先輩は私と同じ土地の空気を吸い、同じ水で育つたのだ」と感慨もひとしおで、世代間の垣根を取り払うことができ、親しい交流の糸口にすることができるとは思えないかと思っております。

現在、名簿業者と言つた業界もあるようでございます。名簿作成に当たりましては、みなさんのプライバシーを損なうことがあつてはならないと、みなさまにご迷惑のかわらないよう、できる限りの配慮はいたします。また、このような点にぜひ注意してもらいたいと言つたアドレスが頂ければ、なお結構でございます。来年の newName簿作成に当たりまして、以上をお願いをもちまして、事務局からの報告とさせて頂きます。

ありがとうございました。

